

科目名		建築法規Ⅱ			
担当教員		佐藤 静		実務授業の有無	○
対象学科		建築大工科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方		建築物の最低基準である建築基準法・建築基準法施行令を中心にした、基本的な法規の知識と設計の考え方を講義を通して学ぶ。 1. 建築施工において、法律上の規制、構造基準、申請手続き等の必要性を学ぶ。 2. 条件と規制に則した設備設計の進め方の基本を理解する。 3. 講義→小テスト→解答→解説を繰り返すことで重要性を理解・習得する。			
学習目標 (到達目標)		人々の生命・健康などを守るため建築物の最低基準である建築基準法・建築基準法施行令を中心にした基本知識を習得し建築士2級の筆記試験範囲にあたる科目のため、合格点に達する習熟度を目標とする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		書名：建築関係法令集（法令編） 発行：（株）総合資格学院（参考書：図説やさしい建築法規・学芸出版社）			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	防火地域 ①防火地域（準防火地域）内に関する建築物の規定 ②22条地域、延焼のおそれのある部分について			達成目標：項目①～②防火地域内・準防火地域内における建築物の制限、22条地域、延焼のおそれのある部分のが理解・説明できる 準備学習：教科書①②の予習	
2	建築基準法、別表			基準法、別表1～4について説明。 （別表について、関連法の確認・理解でき説明できる。）	
3	構造強度(木造) ①木造建築物の構造強度に関する規定。 ②柱・筋かい（耐力壁）の説明。			達成目標：項目①～②木造建築物の柱の大きさ・筋かいの必要量が理解・説明できる 準備学習：教科書①②の予習	
4	構造強度（鉄骨造・鉄筋コンクリート造） ①S造・RC造の使用材料・ ②強度・構造等			達成目標：項目①～②鉄筋コンクリート造等の材料、構造の強度等が理解・説明できる 準備学習：教科書①②の予習	
5	耐火構造・防火区画等（耐火・準耐火建築物の防火区画） ①建物の耐火性能、用途・規模等による防火区画・種類			達成目標：項目①建物の耐火性能、用途・規模等による必要な防火区画・種類等が理解・説明できる 準備学習：教科書①の予習	
6	避難施設等 （廊下・避難階段・排煙設備・非常用の照明・進入口） ①廊下・階段等の必要な幅・種類・構造、 ②排煙設備・非常用の照明・進入口の設置基準、 ③上記構造の理解と計算。④練習問題			達成目標：項目①～③の法に関する概要、種類、基準を理解・説明できる 準備学習：教科書①～③の予習	
7	特殊建築物等の内装 （制限を受ける特殊建築物・建築物の内装） ①制限を受ける特殊建築物の用途・構造等、 ②内装材の種類等 ③練習問題			達成目標：項目①～②の法に関する概要、種類、基準を理解・説明できる 準備学習：教科書①～②の予習	
8	建築士法に関する規定 ①建築士のできる設計・監理・業務			達成目標：項目①の法に関する概要、種類、基準を理解・説明できる 準備学習：教科書①の予習	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
期末試験	小テスト				
70 %	30 %	%	%		
成績評価基準は				法の確認 チェック は、法の順、・条項ではなく、関連する「法・令・告示」の全てを調べる必要があります。従って、その関連する条項を早く確認できる事が大切です。また、建築全てにおいて、法が関係しています。広範ですが、頑張ってください。	
実務経験教員の経歴		住宅設計に10年携わる			